

2021 宇都宮大学キャリアフェスティバルが開催されました

この催しは、本学の学部生・大学院生全員が対象のキャリア教育プログラムであり、様々な業界を代表する企業の経営や人事の分野で活躍されている方をお招きし、産業界や企業がどのような経営戦略をもって進もうとしているのか、また、どのような人材を求めているのかなど、今後の学生の将来を取り巻く環境や、業界・企業の動向、キャリアパスについて考え学ぶ機会を提供することを目的に開催しています。

15年目となる今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止策としてオンラインによるライブ配信で実施し、全体会のパネルディスカッションと分科会の企業講話の2部構成として、10月30日（土）に開催しました。今回のフェスティバルでは統一テーマ「地方創生の時代に向けた企業の新しい取組み～働き方、SDGs、地域貢献～」を掲げ、学生の今後の学修への動機づけに繋げることをしました。



(開会挨拶 宇都宮大学長 池田 幸)

昨年に続きオンライン開催ということで学生は自宅等のネットワーク環境から参加することができ、休日にも関わらず250名を超える参加申込がありました。



(左から本学吉澤理事、JR 東日本様、森永乳業様、栃木県庁様)

パネルディスカッションではパネリストとして JR 東日本様、森永乳業(株)様、栃木県庁様にご登壇いただき「企業が SDGs に取り組む意義とメリット」をテーマに民間企業 2 社からの取組み事例について、また行政としての企業サポート事例についてお話しいただきました。

その後の分科会ではパネル企業の 2 社を含め、大成建設(株)様、持田製薬(株)様、パナソニック(株)様、(株)SUBARU 様、ニプロ(株)様、丸紅(株)様、NTT 東日本グループ様、(株)講談社様の合計 10 会場 10 社にご対応いただき、これからの業界・企業の動向、SDGs の取組み事例、また講師自身のキャリアや働く思い、やりがいについてお話しをいただきました。

参加した学生からは、「各企業の SDGs への取り組みを知ることで、単に経済活動だけが重要ではないことを知ることができた」、「これからの会社の評価として、SDGs への取り組みが重要視されることを知り、そのような視点で企業理解を深めようと思った」など業界・企業に対する視野が広がったようです。

そして、「自分のキャリアや進路を考える上でとても参考になり、これからの学生生活の中で学ぶこと経験することの重要性を感じた」という意見もあり、将来に対するイメージや学生生活における意識の向上が図られたと感じています。

さらに「一度に多くの企業、幅広い業界を知ることができる良い機会なので、1 年生のうちから参加することを後輩にもお薦めしたい」という意見も多く寄せられ、とても有意義なフェスティバルとなりました。

ご参画いただきました企業の皆様、教職員の皆様、参加いただいた学生の皆さん、ありがとうございました。